

## 大会への参加及び大会実施におけるガイドライン新旧対照表

(新) 令和3年5月24日版	(旧) 令和3年4月20日版
<p><b>宿泊について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>顧問又は引率者は、</u>宿泊を行うにあたって、<u>宿舎が定めた感染防止対策及び本ガイドラインを事前に</u>生徒へ周知・徹底する。○<u>食事中は大きな声で話さず、会話の際はマスクを着用する。</u></li> <li>○<u>宿舎内がスリッパの場合は、</u><u>生徒自身が、</u>テープ等で名前を貼り、<u>他人と共用しない。</u></li> <li>○<u>相部屋となる場合は、</u>ルームキー、キーカードは部屋で一人が所持して使用する。また、<u>部屋内において他人と物の共用を行わないようにするほか、</u>マスクの着用や換気をするなど、<u>密閉、密集、密接をそれぞれ回避するよう、</u>感染症予防対策を徹底する。なお、リモコン、電源スイッチなど共用部分についても、<u>一人が操作することとし、</u><u>使用したら消毒を行う。</u></li> <li>○<u>入浴は、</u>部屋の風呂を使用する。部屋に風呂がなく、大浴場を利用する場合は、<u>顧問又は引率者が</u>グループ分けや入浴順番のタイムテーブルを作成するなどし、<u>脱衣室、浴室内が密閉、密集、密接とならないようにする。</u>1グループ終わるごとに、<u>顧問又は引率者が</u>脱衣室の共用部分（ロッカー、脱衣かご、体重計、ソファ、イス、ドライヤー等）の消毒を行う。消毒等が終わるまで、次のグループは部屋で待機とし、<u>浴室前等が密集、密接とならないようにする。</u></li> <li>○<u>顧問は、</u>集合やミーティングは、<u>距離を取って行える場所を確保し、</u><u>全員がマスクを着用して</u>行う。</li> </ul>	<p><b>宿泊について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>宿泊を行うにあたっては、</u>宿舎が定めた感染防止対策及び本ガイドラインを生徒へ周知・徹底する。</li> <li>○<u>宿舎内がスリッパの場合は、</u>テープ等で名前を貼り、他人と共用しないようにする。</li> <li>○<u>相部屋となる場合は、</u>ルームキー、キーカードは部屋で一人が所持して使用する。また、<u>部屋内において他人と物の共用を行わないようにするほか、</u>マスクの着用や換気をするなど、<u>三密となることのないよう、</u>感染症予防対策を徹底する。なお、リモコン、電源スイッチなど共用部分についても、<u>なるべく一人が操作することとし、</u>適宜消毒を行う。</li> <li>○<u>入浴は、</u>部屋の風呂を使用する。部屋に風呂がなく、大浴場を利用する場合は、<u>グループ分けや入浴順番のタイムテーブルを作成するなどし、</u>脱衣所、浴室内が密とならないようにする。1グループ終わるごとに、<u>脱衣所の共用部分（ロッカー、脱衣かご、体重計、ソファ、イス、ドライヤー等）の消毒を行う。</u>消毒等が終わるまで、次のグループは部屋で待機とし、<u>浴室前等が密とならないようにする。</u></li> <li>○<u>集合やミーティングは、</u>距離を取って行える場所を確保して行う。</li> </ul>
<p><b>大会運営について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>大会主催者は、</u>本ガイドラインを基に実施する大会の具体的な感染防止対策を保護者へ<u>事前に</u>提示し、生徒の参加についての同意書の提出を求める。</li> <li>○<u>大会主催者は、</u>出入口には、<u>手指消毒剤</u></li> </ul>	<p><b>大会運営について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>大会主催者は、</u>本ガイドラインを基に実施する大会の具体的な感染防止対策を保護者へ提示し、生徒の参加についての同意書の提出を求める。</li> <li>○<u>出入口には、</u>手指消毒剤を設置する。</li> </ul>

を設置する。

- 大会主催者は、参加者に対して、受付等で検温を実施する。
- 大会主催者は、受付等において、参加者等が距離を置いて並べるよう目印を設置する。
- 大会主催者は、対面する場所については、必要に応じて、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽する。
- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。ただし、夏季においては熱中症の心配があるため、状況に応じて柔軟に対応する。なお、会話や指導を行う場合は、マスクを着用する。
- 選手は原則として、試合中のみマスクを外すことができる。
- 監督・コーチ・選手は、試合の前後だけでなく試合中にも、手洗い又は消毒を行う。
- 開会式や閉会式を実施する場合、大会主催者は、密集・密接とならないよう、参加者の人数制限や、参加者相互の間隔（できるだけ1m）を広くとること、マスクを着用することなどの対策をして実施する。
- 屋内競技は試合中であっても定期的（30分に1回5分程度）に大会主催者主導で一斉に換気を行う。会場の状況によっては、送風機などで空間の空気を動かす対応も実施し、密閉空間とならないよう努める。
- 大会主催者は、選手が触れる用具、器械、器具は、定期的（試合の間等）に消毒する。ただし、材質やメンテナンス上、消毒が困難な場合は、選手自身が、消毒を行うよう呼びかける。
- 試合中は選手、監督、コーチは大きな掛け声は出さない。
- ミーティングなどにおいて、密閉空間での滞在を避ける。
- 大会主催者は、更衣の際は、更衣室の使用人数を、人と人との距離が1m以上確

- 参加者に対して、受付等で検温を実施する。
- 受付等において、参加者等が距離を置いて並べるよう目印を設置する。
- 対面する場所については、必要に応じて、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽する。
- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。ただし、夏季においては熱中症の心配があるため、状況に応じて柔軟に対応する。
- 選手は原則として、ウォーミングアップ・ダウン及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- 開会式や閉会式を実施する場合は密集・密接とならないよう、参加者の人数制限や、参加者相互の間隔（できるだけ1m）を広くとるなどの対策をして実施する。
- 屋内競技は試合中であっても定期的（1時間ごとに5～10分程度）に大会主催者主導で一斉に換気を行う。会場の状況によっては、送風機などで空間の空気を動かす対応も実施し、密閉空間とならないよう努める。
- 選手が触れるボールや器械器具は、可能であれば定期的に消毒する。
- 試合中は選手、監督、コーチは大きな掛け声は控える。
- ミーティングなどにおいて、密閉空間での長時間滞在を避ける。
- 更衣の際は、更衣室の使用人数を制限し、換気に努める。

<p>保できるよう利用人数を制限し、定期的（30分に1回5分程度）に換気に努める。また、利用人数や注意点の掲示を行う。</p> <p>○大会主催者は、試合会場で手が触れる場所を、定期的に消毒を行うために、計画を立てて行う。</p> <p>○選手の待機場所については、大会主催者において場所を指定するなどして、密閉、密集、密接それぞれを回避するようにする。</p> <p>○報道機関による選手・監督、大会関係者への取材については、マスクを着用して実施してもらう。その場合、1m以上距離を確保する。</p> <p>○大会主催者は、入退場時、トイレ、休憩時間や待ち合わせ場所等を含め密閉、密集、密接それぞれを回避するほか、ハイタッチなど交流等を行わないことを呼びかける。</p>	<p>○試合会場で手が触れる場所は定期的に消毒を行う。</p> <p>○選手の待機場所については、大会主催者において場所を指定するなどして、密とならないようにする。</p> <p>○報道機関による選手・監督、大会関係者への取材については、マスクを着用して実施してもらう。その場合、密とならないようにする。</p> <p>○入退場時、トイレ、休憩時間や待ち合わせ場所等を含め「三つの密（密閉、密集、密接）」の環境を避ける他、ハイタッチなど交流等を極力控えることを呼びかける。</p>
<p><b>観客について</b></p> <p>○大会主催者は、出入口を限定し、観客等の入退場をコントロールする。</p> <p>○大会主催者は、大会の会場が公園や自然内で、観客エリアの制限が難しい場合は、大会関係者以外へ看板や放送などで注意喚起を実施する。</p> <p>○大会主催者は、観客を入れる場合は、選手の保護者及び家族、出場校生徒、OB・OG会及び後援会又は同窓会等、学校に関係のある者のみとし、事前申請された者に限定し、観客名簿（氏名、住所、電話番号が記載）を作成し連絡先を把握しておく。なお、取得した個人情報については大会終了後、約1ヶ月厳重に保管し、期間終了後シュレッダーにて裁断し、確実に廃棄する。また、当日入口にて検温を実施するとともに、許可証等を発行するなど観客の入場の管理を含めた対策を講じ、次の内容について事前に周知する。</p> <p>○観客として来場される方は、大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状が</p>	<p><b>観客について</b></p> <p>○出入口を限定し、観客等の入退場をコントロールする。</p> <p>○大会の会場が公園や自然内で、観客エリアの制限が難しい場合は、大会関係者以外へ看板や放送などで注意喚起を実施する。</p> <p>○観客を入れる場合は、選手の保護者及び家族、出場校生徒、OB・OG会及び後援会又は同窓会等、学校に関係のある者のみとし、事前申請された者に限定し、観客名簿（氏名、住所、電話番号が記載）を作成し連絡先を把握しておく。なお、取得した個人情報については大会終了後、約1ヶ月厳重に保管し、期間終了後シュレッダーにて裁断し、確実に廃棄する。また、当日入口にて検温を実施するとともに、許可証等を発行するなど観客の入場の管理を含めた対策を講じ、次の内容について事前に周知する。</p> <p>○大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状がある者は、来場できない。</p>

<p>ある者は、来場できない。</p> <p>○観客は必ずマスクを着用し、周囲との間隔（1 m）を十分空けるとともに、集団（家族を含まない）となつての応援、発声による応援、楽器を使つての応援は行わない。ただし、夏季においては熱中症の心配があるため、柔軟に対応する。<u>ただし、マスクを外す場合は周囲との間隔をできる限り2 mを確保する。</u></p>	<p>○観客は必ずマスクを着用し、周囲との間隔（1 m）を十分空けるとともに、集団（家族を含まない）となつての応援、発声による応援、楽器を使つての応援は行わない。ただし、夏季においては熱中症の心配があるため、柔軟に対応する。</p>
<p><u>感染者が発生した場合の対応について</u></p> <p>○大会主催者は、参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、保健所が実施する疫学調査等に協力する。</p>	<p><u>感染者が発生した場合の対応について</u></p> <p>○参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、保健所が実施する疫学調査等に協力する。</p>
<p><u>その他</u></p> <p>○練習試合の実施にあたっては、<u>上記の対策を実施する。</u></p> <p>○複数校での合同練習や記録会及び演技会等を実施する場合も、<u>上記の対策を実施する。</u></p>	<p><u>その他</u></p> <p>○練習試合の実施にあたっては、上記の対策を可能な限り実施する。</p> <p>○複数校での合同練習や記録会及び演技会等を実施する場合も、上記の対策を可能な限り実施する。</p>